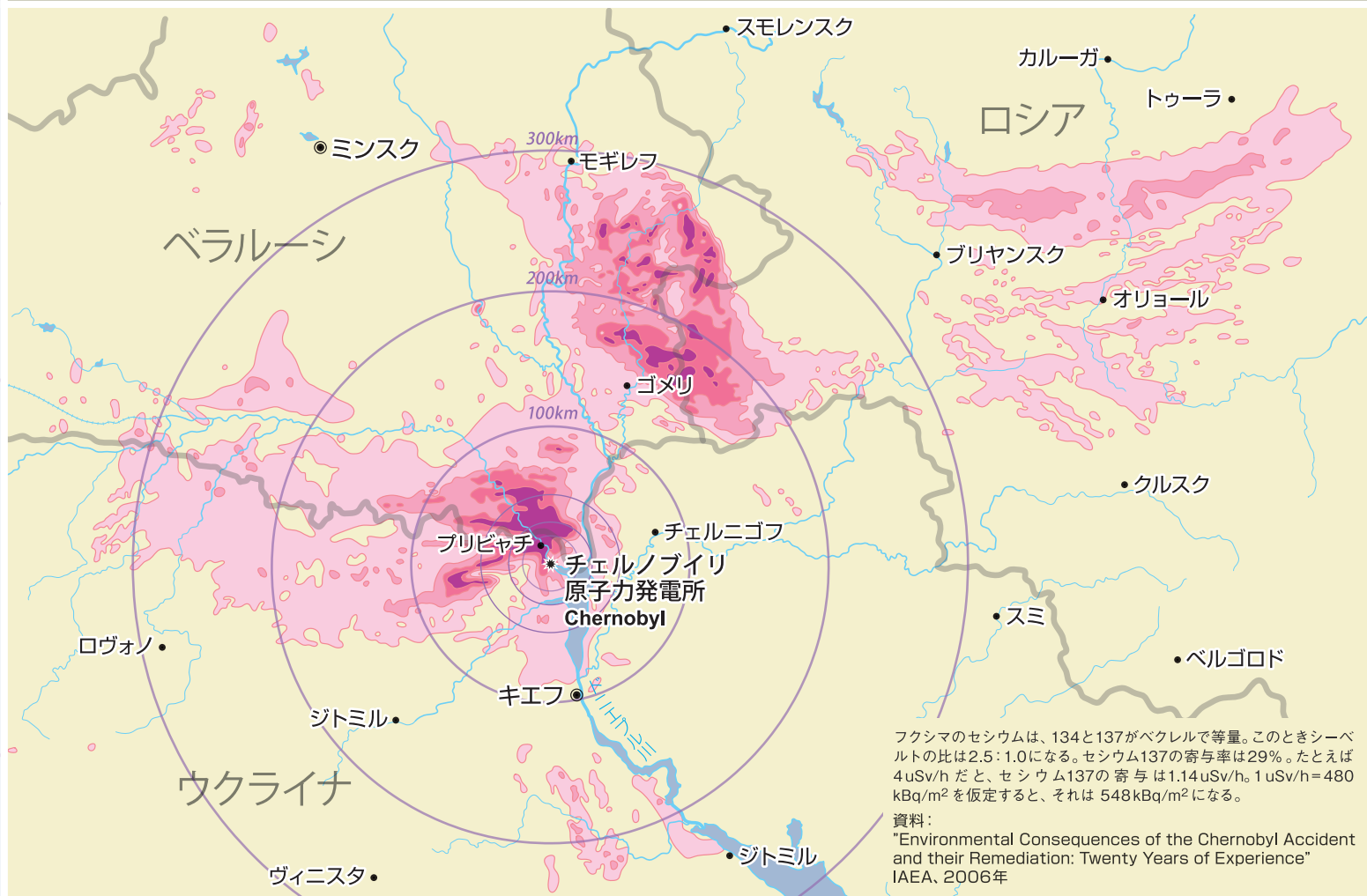


フクシマとチェルノブイリの比較

著者：早川由紀夫(群馬大学) kipuka.blog70.fc2.com
By Yukio Hayakawa, Gunma University



フクシマのセシウムは、134と137がベクレルで等量。このときシーベルトの比は2.5:1.0になる。セシウム137の寄与率は29%。たとえば4uSv/hだと、セシウム137の寄与は1.14uSv/h。1uSv/h=480kBq/m²を仮定すると、それは548kBq/m²になる。

資料：
"Environmental Consequences of the Chernobyl Accident and their Remediation: Twenty Years of Experience"
IAEA, 2006年

日本(左図)	~8μSv/h	8~4μSv/h	4~1μSv/h	1~0.25μSv/h	0.25~0.125μSv/h	0.25未満
チェルノブイリ(上図)	3700~1480kBq/m ² 居住禁止区域	1480~555kBq/m ² 移住必要区域	555~185kBq/m ² 移住権利区域	185~37kBq/m ²	(日本のみ)	37kBq/m ² 未満

改訂版 2011年12月9日(初版4月15日)
この地図の作成には、文部科学省科学研究費補助金「インターネットを活用した情報共有による新しい地学教育」(番号23501007)を使用しました。
地図製図：萩原佐知子 (TUBE graphics)